



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年1月30日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

スキージャンプ・葛西紀明選手 折れない翼

30日(日)=1、3面



迫る

49歳の葛西紀明さん（土屋ホーム）＝写真＝は、北京五輪の代表に選ばれませんでした。が、冬季五輪史上最多の8大会連続出場を誇る「レジェンド」であることは間違いありません。北京五輪に出られなくても現役は続け、

これからも五輪出場を目指す」と表明しています。

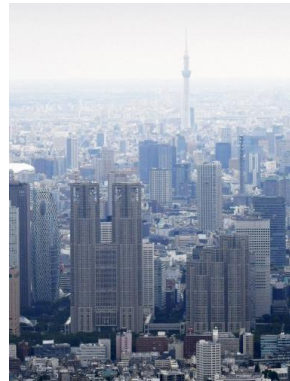
自身の成績が振るわなくても悲観的な表情はあまり見せず、常に前向きで明るい姿勢を貫いてきました。その原動力とは何か——。一つには完璧なジャン

プをまだ飛んでいない、という向上心があります。もう一つは家族の支え、とりわけ母からもらった手紙を大切にしてきました。葛西選手の秘めた胸の内に迫ります。

特集 ワイド

首都圏マンション高騰

31日(月)＝夕刊特集ワイド



首都圏の新築マンション＝写真＝の価格高騰が止まりません。東京23区では平均価格が8000万円を超え、とても庶民の手に入らない代物ではなくなっています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一時は都心の不動産市場は落ち込む

のではないと言われてきましたが、そんな心配もなく、高騰が続いています。今後、その価格はどうなるのでしょうか。専門家に聞きました。

【写真説明】東京を中心に首都圏のマンション価格は高騰が続いている＝東京都新宿区で、本社ヘリから西夏生撮影



北京冬季オリンピックピック開幕

2月5日(土)

11面など

北京オリンピックが2月4日に開幕します。20日までの17日間、7競技で冬季五輪史上最多109種目が実施されます。スピードスケートで金メダルが期待される高木美帆選手は写真が主将を務める日本選手団は、1998年長野五輪の過去最多

金メダル5個を上回る活躍が期待されます。フィギュアスケート男子で3連覇に挑む羽生結弦選手は4回転半ジャンプを成功させることができるか注目されます。北京では2008年夏季五輪に続く開催で、同一都市で夏冬五輪が

行われるのは初めてとなります。新型コロナウイルスの感染拡大で、観客が一部の招待客に限られる厳戒態勢の中でのスポーツの祭典を、現地特派員がたっぷりとお伝えします。

論点 観光再生の行方

2月4日(金)＝オピニオン面



新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の感染拡大が続いています。1月末に再開予定だった「G・O・T・トラベル」は再び延期され、外部要因に左右されやすい観光業の危うさが改めて浮かび上がりました。日本の

観光はコロナ禍前までは、空前の外国人観光客で沸き、観光地ではオーバーツーリズムと呼ばれる「観光公害」も深刻化していました。ウィズコロナの新時代を見据えて、望ましい観光のあり方を考えました。

毎日新聞



2022年2月21日 毎日新聞創刊150年



毎日新聞は2月21日に創刊150年を迎えます。その前後一週間に「創刊150年記念ウィーク」とし、外部の方に毎日新聞の多彩な「顔」を対談形式で語っていただくオンラインイベント（一部はリアル）を連続的に開催します。左の2次元コードから、ぜひご参加ください。（中本慎二）



編集後記